

(仮訳)

2017年7月5日  
BIS 決済・市場インフラ委員会  
証券監督者国際機構

## BIS 決済・市場インフラ委員会と証券監督者国際機構による報告書 「金融市場インフラの再建 (2017)」のカバーノート

### 背景

- 本日、BIS 決済・市場インフラ委員会 (CPMI) および証券監督者国際機構 (IOSCO) は、「金融市場インフラのための原則」(FMI 原則) が定める FMI の再建計画に関する原則および重要な考慮事項について、追加ガイダンスを公表した。本ガイダンスは、2016年8月16日に公表された市中協議報告書<sup>1</sup>に基づくものである。FMI の再建に関する追加ガイダンスは、2014年10月の報告書「金融市場インフラの再建 (以下、「2014年の再建報告書」)」の改定版として公表するものである<sup>2</sup>。
- また、金融安定理事会 (FSB) は、本日、「CCP の破綻処理および破綻計画に係るガイダンス (破綻処理ガイダンス)」<sup>3</sup>を公表した。

### ガイダンスの範囲と目的

- 本ガイダンスは、FSB、CPMI、IOSCO およびバーゼル銀行監督委員会が策定した「CCP 作業計画」に示された CCP の強靭性に係る優先事項に従い、再建に関する FMI 原則における原則および重要な考慮事項に係るガイダンスを提供することによって、CCP の再建の枠組みを強化することを目的としており、2014年の再建報告書に基づく内容となっている。2014年の再建報告書への変更は、CCP 特有の再建の取極めを勘案して行われたものであるが、本ガイダンスは他の種類の FMI にも関連するものである。
- 本ガイダンスの記述の詳細さ・粒度は、FMI 原則が採用するプリンシプルベース・アプローチの文脈において、理解されるべきである。プリンシプルベ

<sup>1</sup> BIS ウェブサイト ([www.bis.org/cpmi/publ/d149.pdf](http://www.bis.org/cpmi/publ/d149.pdf)) および IOSCO ウェブサイト ([www.iosco.org/library/pubdocs/pdf/IOSCOPD539.pdf](http://www.iosco.org/library/pubdocs/pdf/IOSCOPD539.pdf)) 参照。

<sup>2</sup> 改定版報告書 (修正履歴付) は、[cpmi@bis.org](mailto:cpmi@bis.org) か [inforecovery@iosco.org](mailto:inforecovery@iosco.org) へ請求することで入手可能。

<sup>3</sup> FSB ウェブサイト ([www.fsb.org/2017/07/guidance-on-central-counterparty-resolution-and-resolution-planning-2/](http://www.fsb.org/2017/07/guidance-on-central-counterparty-resolution-and-resolution-planning-2/)) 参照。

ース・アプローチは、CCPにおける組織形態、機能、制度設計が様々に異なっており、特定の成果を達成するために多様な方法が存在することを認めるものである。本ガイダンスは、FMIや当局に対する、FMI原則が定める原則を上回る追加的な基準を新たに設定しようとするものではない。本報告書は、関連するFMI原則、重要な考慮事項および付属する説明とともに、読まれるべきである。本ガイダンスは、FMI原則を遵守していると認められる方法を明らかにするものであるが、FMI原則を遵守するための必ずしも唯一の方法を規定するものではない。個々のCCPは、FMI原則の遵守を達成するための手法を策定する場合に、監督・規制およびオーバーサイト当局と協力して、本報告書のガイダンスを注意深く考慮すべきである。

### 改定版ガイダンスへのインプット

- CPMI および IOSCO は、ガイダンスの策定において、以下のインプットを考慮した。
  1. 業界企業とのワークショップ（市中協議前、市中協議中に実施）
  2. 業界団体から書面提出された意見
  3. CCPの再建計画策定に関する調査結果  
調査対象には、取引所やOTC市場において証券やデリバティブ取引を清算する30を超えるCCPが含まれており、多様な所在地、規模、組織構造、所有形態、対象マーケット等が代表されている。
  4. CPMI および IOSCO が、特定のCCPを対象に実施した再建計画策定に係るFMI原則の実施状況のモニタリング（Level3）の調査結果
  5. 市中協議報告書「CCPの強靱性および再建：FMI原則に関する追加ガイダンス」に寄せられたコメント<sup>4</sup>
- CPMI および IOSCO は、非常に短時間のスケジュールにも拘わらず、本プロセスに参加して、CCPの調査に協力し、また、詳細で有益なコメントを提供してくれた業界関係者に感謝したい。
- また CPMI および IOSCO は、改定版のFMIの再建に関する追加ガイダンスおよび破綻処理ガイダンス間で整合性を確保するよう、FSBと緊密な協力も行ってきた。

---

<sup>4</sup> BIS ウェブサイト ([www.bis.org/cpmi/publ/comments/d149/overview.htm](http://www.bis.org/cpmi/publ/comments/d149/overview.htm)) および IOSCO ウェブサイト ([www.iosco.org/publications/?subsection=public\\_comment\\_letters](http://www.iosco.org/publications/?subsection=public_comment_letters)) 参照。

## 市中協議を踏まえた報告書の主な変更点

- CPMI および IOSCO は、市中協議報告書「CCP の強靱性および再建：FMI 原則に関する追加ガイダンス」に寄せられたコメントを詳細に議論した。コメントを踏まえ、4つの論点が更に明確化された。
  - ① 再建計画の実効性確保
  - ② (費消した財務資源の) 再補充
  - ③ 参加者破綻以外の損失
  - ④ 再建ツールとその利用方法に関する透明性
- 市中協議において寄せられたコメントの多くは、未カバーの損失や流動性不足に対応するための包括的なツールの必要性に関するコメントを含め、2014年の再建報告書で十分議論された論点に関するものであった。このため、こうした論点については、追加的な変更はなされていない。
- より一般的には、今回変更されなかったセクションを含め、2014年の再建報告書全体が引き続き適用されるということを強調することが重要である。

## 進行中および今後の作業

- CPMI および IOSCO は、再度、CCP および他の種類の FMI が、強固で包括的な再建計画を持つことの重要性を強調する。その観点から、19先の CCP における再建計画の策定状況を調査するための作業を進めている。
- また、CPMI および IOSCO は、破綻参加者のポジションのオークションに関する優れた取組みについて、検討作業を行うことを合意した。

以 上